

## OB 会情報ネットワーク開設の経緯

**平成 11 年 5 月** 「三菱樹脂 OB 会ご不幸通知ネットワーク」のシステムを見直し・検討を開始した。

従来の「ご不幸通知ネットワーク」は、OB 会事務局に入った情報を、電話で個々の会員に連絡するシステムであり、人手・電話に頼るために末端まで連絡を徹底するには無理があった。

**平成 12 年 2 月** 従来の「ご不幸通知ネットワーク」の不便な方式を改善するために、FAX 機能付き電話とパソコンによる FAX 信送方式をヒントに電話回線とパソコンによる「情報ネットワーク」の構築を計画した。この場合、「独立した電話回線」と「住所録管理」が必要になるため事務局と相談した結果、三菱樹脂社のノウハウを借用することとした。

**平成 12 年 4 月** 三菱樹脂社システム部と相談した結果、同社使用のシステム「NOTES-FAX」を用いて「OB 会情報ネットワーク」を構築するのが好適であることが分かった。

**平成 12 年 5 月** 正式に OB 会より、三菱樹脂社（システム部 三浦部長担当）に対して、「希望仕様」を提示するとともに、「NOTES-FAX」を用いた「OB 会情報ネットワーク」（Notes—to—Fax）の構築を要請し受け入れられた。OB 会から氏名・電話番号などをまとめた「氏名リスト」を提出した。

**平成 12 年 6 月** 同年 8～9 月に一回目のトライをすることで、諸作業が進められた。Notes—to—Fax に要する費用は、概算で、設定費（一時金）＝1000 円、通信費（約 150 人として）20 円／人・回と見積もられた。

**平成 13 年 4 月 30 日** 構築された Notes—to—Fax で、数回のトライと手直しを経て、Notes—to—Fax を用いた実地テストがおこなわれた。

**平成 13 年 5 月** 実地テストの結果、若干の手直しの末、実用が開始された。

**平成 22 年 10 月 26 日** Notes—to—Fax は開始後、約 9 年経過したが、これまで大きなトラブルもなく、問題なく稼働している。

### 付記

スタート時は、e-mail を利用する人が少ないこともあり、全て FAX 扱いとしたが、その後、e-mail 利用者が増加してきたのに伴い、順次 FAX と e-mail を併用するようになった。

H22.10.26 現在 単位:名

	FAX 所有	e-mail 所有	電話 2 次連絡	その他	合 計
本部地区	1 1 7	2 1 9	5 0	8	3 9 4
長浜支部	7 0	7 0	4 7	5	1 9 2
大阪支部	2 0	1 4	6	1	4 1
名古屋支部	1 2	9	5	0	2 6
九州支部	1 2	1 5	6	1	3 4
合 計	2 3 1	3 2 5	1 1 5	1 6	6 8 7

注) 「その他」の項には 連絡辞退、住所不明などを含む

以 上